

瀬戸学区まちづくり推進委員会

委員長 奥野 英幸

（問合せ先） 084-951-1003（瀬戸公民館）

## ●地域まちづくり推進事業●

### 事業内容

- (1) 瀬戸小学校児童育成（10月～2月 瀬戸公民館・瀬戸小学校・内海町ほか368人）
- (2) 公民館サークル育成（7月～12月 2月～3月中止 瀬戸公民館 98人）
- (3) 自主防災活動（7月7日（日）役員研修 岩国市 35人）
- (4) 避難行動要支援者の支援事業（通年 瀬戸学区内 約50人）
- (5) 第20回町民ふれあい囲碁大会（2月16日（日）瀬戸公民館 8人）
- (6) 料理教室（7月27日（土）・12月7日（土）瀬戸コミュニティセンター 51人）
- (7) 史跡めぐり（5月23日（木）・11月23日（土）  
瀬戸公民館・呉市下蒲刈町方面 61人）
- (8) 情報紙発行（通年 瀬戸学区内 12回発行）
- (9) 町民納涼夏まつり盆踊り大会（8月3日（土）瀬戸小学校グラウンド 約600人）
- (10) 町民大運動会（10月20日（日）瀬戸小学校グラウンド 約1,500人）
- (11) 体カづくり運動（1月1日（水）山岳公園 約250人）
- (12) コミュニティ育成（通年 瀬戸学区内20自治会 2,128世帯）
- (13) 納税推進（通年 瀬戸学区内啓発）
- (14) 環境美化活動（犬のフン・ごみ捨て啓発環境マークプレート作成  
清掃：6月16日（日）瀬戸学区内134人・12月8日（日）瀬戸学区内129人）
- (15) 第19回町民ふれあいグラウンドゴルフ大会  
（11月9日（土）瀬戸小学校グラウンド 61人）
- (16) まちづくり計画に基づく事業（計画：フェスティバル）
- (17) まちづくり推進委員会運営（通年 瀬戸公民館 112人）



【『わくわく土曜クラブ』ポーセラーツのカップ作り♪】



【『自主防災』役員研修 in 岩国市防災学習館】

### 成果

今年度の環境美化清掃は、小学校児童や中学校生徒の参加が多く、環境やボランティア活動に対する意欲を感じることができた。

### 課題

行事の参加者を増やすべく、地域住民に対してまちづくり事業の周知に努める必要がある。  
新型コロナウイルス感染症の影響で2月～3月の企画が実施できず残念であった。

# 広がった！ふれあいと交流の輪！！

地域まちづくり計画推進事業

## 《第14回ふれあいフェスティバル瀬戸》

～みんなが主役！みんなで盛り上げたフェスティバル♪～

隔年で開催しているフェスティバルは、今年14回目を迎えました。今回も、各自治会や各種団体をはじめ、小学校・中学校・保育所・こども園、町内の事業所などの協力のもと盛大に開催することができました。

当日は、9時の開会式からスタートし、その後は、日頃から地域で活動されている瀬戸成人大学講座生やサークルなどの発表が続ки、会場と一体となった元気一杯のステージとなりました。

とりわけ、和太鼓『響組』による強烈な太鼓の響きと余韻、糸乱れぬ演奏は見る者の心を揺さぶりました。猪之子神楽保存会による『伊吹山』は、伝統の舞の披露と町民との親近感に心を配る熱演がありました。



【和太鼓『響組』による演奏】



【猪之子神楽保存会による『伊吹山』】

グラウンドでは、甘いミカンの詰め放題、つくたての白餅販売等々、行列ができる人気でした。また、交通安全コーナーでは、内閣府から功労賞を授与された瀬戸交通少年団の歩みを紹介するパネル展示、防災コーナーでは、瀬戸町豪雨災害や防災重点ため池のハザードマップなどの展示もあり、来場者の関心を引きました。

体育館では、保育所・こども園、小学校児童や町内の施設利用者による作品、趣味や特技を生か

した作品が会場一杯に展示され、感嘆の声が上がるほど見応えがありました。フェスティバル開催にあたり、役員をはじめ、多くの方々の献身的で温かいボランティア精神の輪が根付いていることを強く感じることができました。

まちづくりは、一人ではできません。まちづくりの源は、町民相互の励ましと協力の輪が育つ地域づくり



【展示コーナー】



【大人気のバザーコーナー】

です。

今回のフェスティバルを通じ、町民一人ひとりの活動に共感し、新たな自分に挑戦するきっかけになればと願っています。次回に向け、町民の心を一つにし、エネルギー充填のミッションを私たちに託されたと感じているところです。